



NO.11

まいとし ^{がつ} がつ ^{がつ} かけて、^{しろ} 白や^{ピンク} ピンク

^{はな} の花をつけます。ただ、^{はな} 花のよう^み に見える

るのは^は 葉で^{ほんとう} 本当の花は^{はな} 中心^{ちゅうしん} にあります。

^{あき} 秋には^ま 真っ^か 赤な^み 実をつけます。

^{べつめい} 別名「^{アメリカ} アメリカヤマボウシ」とも言いま

す。

ハナミズキ



NO.12

にほん めいじじだい
日本には明治時代にやってきました。

こだい じだい しんせい き
古代ギリシャ時代から神聖な木とさ

れ、か ひと あたま かんむり
勝った人の頭に冠としてのせ

たりしました。は かお りょうり
葉は香りがよく、料理

などに使われます。

ゲツケイジユ



NO.13

たか
高さは3～5 M、葉は1～1.5

メートル
Mにもなります。秋には赤い実が

なまえ ゆらい か
なります。名前の由来は、枯れそう

とき てつ あた
な時に鉄を与えるとよみがえると

みき てつ など
か、幹が鉄のようにかたいから等と

いわれています。

ソテツ

NO.14



は葉はうすくて硬く、手のひらのような
かたち形です。花は5月から6月で、チュ
ーリップのかたちに似ているので、「チュ
ーリップツリー」とも呼ばれます。葉
のかたちが寒いときに着る「半纏」
はににているので「ハンテンノキ」などと呼
ばれることもあるそうです。

ユリノキ



NO.15

5月^{がつ}から6月^{がつころ}頃、うす^{むらさきいろ}紫^{ちい}色の小^{ちい}さ
な^{はな}花^さをたくさん咲^さかせ、アゲハチョ
ウ^{あき}などがや^{きいろ}ってきます。秋^{あき}には黄^{きいろ}色
い^み実^みがなり、この実^みを食^たべに鳥^{とり}がや
ってきますが、大^{おお}きい^たわりに食^たべる
ところ^{すく}が少^{すく}ない^{すく}よう^{すく}です。

センダン



NO.16

3月^{がつ}から4月^{がつごろ}頃、葉^はの出^でる前^{まえ}にたま
ご型^{がた}の大き^{おお}な花^{はな}を咲^さかせます。花^{はな}は
上^{うえ}向^むきで、半^{はん}開^{びら}きで咲^ざき、上^{じょう}品^{ひん}で甘^{あま}
い香^{かお}りがし^{ちきゅうじょう}ます。地^ち球^{きゅう}上^{じょう}で最^もも古^{ふる}
い花^{はな}で、一^{いち}億^{おく}年^{ねん}前^{まえ}の地^ち層^{そう}から化^か石^{せき}が
見^みつかっ^てい^るそ^うで^す。

モクレン



NO.17

まいとしはる
毎年春になるとうすいピンク色の

はな
花がたくさん咲き、多くの日本人は

この花の下でお花見をします。たく

さんの品種がありますが、特にソメ

イヨシノが多く植えられています。

にほん だいひょう はな ひと
日本を代表する花の一つです。

サクラ



NO.18

みき はいいろ メートル
幹は灰色で、20 M ほどにもなりま
す。葉にしばしば虫こぶがつくため、
これを目当てに木の名前が分かるほ
どです。これは虫の寄生によるもので、
ヒョンノキとも呼ばれます。

イスノキ



NO. 19

は かたち がた ちか わかい き
葉の形はハート形に近いが、若い木で

は ありき きれこみ がい ばあい
はあらい切れこみが入る場合があります

み あかぐろ あま
す。実は赤黒になると甘くておいしい。

きぬいと せいさん は た
絹糸を生産するカイコがこの葉を食べ

ること 有名
ることで有名です。

クワ



NO.20

たか
高さは40～50 M^{メートル}にもなります。

まんなか
真中がとがった形^{かたち}をしていて、枝は横^{えだ よこ}

ひろ
に広がるか下に下がっています。葉は^は

はり
針のような形^{かたち}をしています。杉の仲間^{すぎ なかま}

さむ
で寒さは苦手です。建物の材料^{たてももの ざいりょう}などに

つか
使われます。

ヒマラヤスギ